会 議 録

会 議 名	令和7年度第1回東浦町空家等対策協議会
開催日時	令和7年10月2日 (木曜日) 午前10時00分から午前11時25分まで
開催場所	東浦町勤労福祉会館 会議室 1
出席者	本 員
	事務局 棚瀬まちづくり部長 久米課長補佐 川瀬建築施設課長
議 題 (公開又は非公開の別)	議題 (1)会長及び職務代理の選出について 議題 (2)東浦町空家等対策計画(案)
傍聴者の数	_
議論内容 (概要)	議題の議論内容については、別紙のとおり
備考	

【開会挨拶】

副町長より挨拶

【議題(1) 会長及び職務代理の選出について】

会長の選出が互選により行われ、小松委員が会長に就任 小松会長の指名により、原田委員が職務代理に就任

【議題(2) 東浦町空家等対策計画についてについて】 事務局が議題について説明

〈意見質問等〉

委 員:国道沿いは減少しているが空き家として実際はどうなのか

事務局:国道沿いは地区により更地や、道路行政が力を入れている箇所について減少傾向は見られる。関連性は把握していないが、引き続き対策を推進していく。

委員:空き家解体の補助金額は誰に対し、どの様に該当するのか。

事務局:予算的には2件分で40万であり、危険な空き家に対しての補助であり点数制で不良住宅として現場で判定できた案件に対して補助を行う。

委員:空き家の利活用件数の実績3件とは町がどのように介入しているのか。計画期間10年で目標値として5件は低すぎないか。一方で、全体としては、100件以上増加しているが分析しているのか。

事務局:町が取り組んだ実績値として、賃貸や売却が成立した物件を利活用の実績としている。一般的な市場で利活用された空き家はカウントしていない。

委員:利活用に除却は入るのかまたマッチングの詳細は。

事務局:除却は入っていない。利活用においては、賃貸が2件、売却(宅建協会)が 1件である。

行政は公共性のあるものを対象にマッチングしており、福祉部局への情報提供や空き家の希望者との街歩きを行っている。

委員:不動産業の介入は敬遠されやすく、草木の繁茂等があり照会できない現状があるので、町がマッチング出来そうな所有者に呼びかけをする方向がよい。

委員:公共性のあるものだけの対応なのか。

事務局:本年4月からは、「さかだちバンク」の広報を10月号に掲載した。「さかだちバンク」は、従来のバンクの逆の発想として、住みたい方・借りたい方が町にエントリーをして空き家所有者とのマッチング支援を行うものである。

委 員: さかだちバンクなどの PR を住宅の耐震化促進と合わせて、実施すると効果 的であると考える。特にローラー作戦の時に合わせて PR するとよい。

事務局: PR については、意見のとおりローラー作戦の時に合わせて PR する。

委員:民間事業者でも空き家のマッチングを行っているが、話を聞いてもらえない ことが多いため、行政が間に入ることは効果的である。

事務局:今後も引き続き「さかだちバンク」などのマッチング支援に本町が関与しながら対策を推進します。

委員:402件中、業者に管理されている物件の把握はしているのか。

事務局:把握はしていない。苦情や除却届等を確認しながら台帳整理をしいる。

委員:今までは、啓蒙と補助が中心的な対策であったが、マンパワーの不足や、職員が減少してく中、これからはマッチングの支援をすることが重要となる。

事務局:今後も引き続き「さかだちバンク」のマッチング支援に本町が関与しながら 対策を推進する。

委員:目標値の設定について、利活用件数を5件とする計画を掲げ、前回の実績値は3件にとどまっている。一方、実態調査によれば、新たな空き家が増えているため、空き家全体は増加しているが、過去7年間で159件の既存空き家は減少している。そのため、利活用件数以外に、空き家数の目標値を加えてもよいのではないか。

また、利活用件数の3件については、町が直接または間接的にマッチング作業を行ったものであるとのことだが、成約に至らなかった物件についても取り組んだ件数の実績として評価してもいいのではないか。

委員:アンケート上で時々利用している方や一時的に住んでいないだけでいずれ利用する方に対して行政が地域と連携をしてマッチングを促すことが有効ではないか。

事務局:ご意見を参考にさせていただきながら反映していきたい。

【その他】

事務局:協議会での意見を参考に計画(案)を修正し、年明けのパブリック・コメントを予定している。

午前 11 時 25 分 閉会